

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援プラザ ふらっぷ2号館		
○保護者評価実施期間	2025年1月16日		2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・送迎時の申し送りの時間を活用し、活動のねらいやお子さんの様子(成長が見られる点や今後も目標として取り組んで行く部分)等をお伝えすることが出来る。保護者からの質問や悩み等についても、直接顔を合わせて聞くことが出来、一緒に考えていく体制が出来てきているように思う。	・連絡ノートに気になる点や心配なこと等の記載があった時は、回答できる時は文章で記載するが状況を詳しく聞きたい時や、口頭で話し合うことが必要と思われる時には、お迎えの時間などにお話をさせて頂くようにお声掛けしている。その場での返答が難しい場合は、スタッフ間でも検討させて頂き後日お返事している。	・普段のやりとりに加えて、保護者の希望に合わせて個別相談や、実際の支援場面を共有しながら関わりの説明を行うことが出来ること等(家族支援加算や子育てサポート加算)等の体制を周知していく。(案内の掲示や定期的なお知らせなどを検討する)
2	・事業所の様子やお家の方から家庭や園での様子を聞き取り、お子さんの姿を評価・分析しながら個別支援計画・専門的支援計画を作成することが出来ている。その際、機能訓練担当のスタッフが参画することで、多職種での立案とそれに基づく活動計画の作成・実施が行えていると思う。	・生活場面を通しての環境調整や、その活動が日常生活のどの部分に繋がっていくのかという視点を、分かりやすく保護者に共有出来るよう、活動内容(ねらい)の掲示を行っている。その日の様子を写真モニターで流すようにしたことで、お迎え時にコーナーをみて下さる保護者が増えたと感じている。	・保護者との共有という点において、今後も視覚的な分かりやすさを工夫したり、掲示物の充実を図っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングなど、保護者に向けた勉強会等の開催を強化していく。 ※交流会や相談会などの保護者支援の実施は行なえたが、以前より要望として聞かれているペアレントトレーニングの講習会の実施に至っていない。	・研修会を運営するにあたり必要な研修を受講したスタッフの数が足りていない。	・計画的にスタッフの研修を予定に組み込み、運営出来る体制を整えていく。
2	・利用定員に対してのスタッフ数は余裕を持ったの配置であると思う。しかし、実際の現場において支援度の高い児の利用が重なったりスタッフの欠員がある場合などではあわただしさを感じる場面がある。	・支援度の高い児が増えたり、会議、訪問等でのスタッフの欠員がある場合の調整の難しさ。	・スタッフの動きの見直し、環境調整、利用調整などで安全に支援を行えるようにしていく。
3	・地域との交流や地域の子育て世帯に向けての子育て支援の開催などを行って行けると良い。	・今年度は子育て支援として「食」をテーマに開催することが出来た。しかし、定期的な実施には至っていない。 ・通所の支援と合わせて定期的開催していく為の業務や運営にかかる人的要因が上手く活用できていない。	・地域のニーズの吸い上げをする。定期的な開催が望ましい場合は、年間を通して計画を立てるなど、見直しを持って実施できるようにしていく。